

平成21年4月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年9月3日

上場会社名 サトウ食品工業(株) 登記社名:佐藤食品工業(株)
 コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 功
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笠原 康司
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月12日

上場取引所 東

TEL 025-275-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第1四半期の業績(平成20年5月1日～平成20年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第1四半期	3,757	—	△410	—	△363	—	△221	—
20年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年4月期第1四半期	—	△45.29	—	—
20年4月期第1四半期	—	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
21年4月期第1四半期	24,303	—	7,768	—	32.0	1,616.95
20年4月期	25,025	—	8,156	—	32.6	1,659.69

(参考)自己資本 21年4月期第1四半期 7,768百万円 20年4月期 8,156百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
20年4月期	—	0.00	—	—	12.00	12.00
21年4月期	—	—	—	—	—	—
21年4月期(予想)	—	0.00	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期累計期間	10,200	—	△420	—	△480	—	△290	—	△59.00
通期	28,200	3.8	580	92.1	430	64.1	240	△53.8	48.83

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第1四半期 5,075,500株 20年4月期 5,075,500株

② 期末自己株式数 21年4月期第1四半期 270,899株 20年4月期 160,899株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年4月期第1四半期 4,895,471株 20年4月期第1四半期 4,914,701株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 当社は、当第1四半期より非連結会社となっております。よって、前年第1四半期は連結財務・業績を開示したため、平成20年4月期第1四半期の経営成績及び財政状態は記載しておりません。なお、当社前年同四半期の実績は、8ページ【参考】前年第1四半期に係る財務諸表等に記載しております。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油高に伴う原材料価格の値上がりや米国のサブプライムローン問題による金融不安等により、個人消費の伸び悩みや企業収益が悪化するなど、景気の先行きに不透明感を増す状況となりました。

加工食品業界におきましては、原油価格の高騰による包装資材や燃料等のコスト上昇が続く厳しい経営環境となりました。また、食品に関する偽装表示問題や輸入食品による農薬混入等、消費者の加工食品に対する不信感から食の安心・安全に対する厳しさが一層増しており、今まで以上に品質管理の強化や環境問題への対応等、企業の社会的責任がますます求められております。

このような状況の中で、原油価格の上昇に伴う包装資材費や燃料費及び配送費等のコストアップに対応すべく、販促企画及びテレビCMの抑制等経費削減に努めると共に、生産効率の向上及び業務の効率化に取り組んでまいりました。

部門別の包装餅部門につきましては、値上がりしたカップめんやパンなど簡便な加工食品から、家庭内調理を伴う商品に消費者の関心が高まっていると言われており、手作り志向と節約志向が重なって、手作りの菓子材料や包装餅などがスーパーで売上を伸ばしたことにより、売上高は8億81百万円となりました。

包装米飯部門につきましては、昨年実施した「サトウのごはん」発売20周年感謝セール等の販促企画やテレビCMを抑制したことにより、売上高は28億72百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は37億57百万円、営業損失は4億10百万円、経常損失は3億63百万円、四半期純損失2億21百万円となりました。

なお、当社は主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期の売上高及び利益が他の四半期に比べ高くなる傾向があります。

部門別の売上高の状況は次のとおりであります。

事業部門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減率(%)
包装餅	881	23.4	38.2
包装米飯	2,872	76.5	△ 1.5
その他	3	0.1	△ 13.3
合計	3,757	100.0	5.6

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は121億95百万円となり、前事業年度末に比較し12億78百万円減少いたしました。

これは、製品が増加(前事業年度末比14億28百万円増)いたしましたが、受取手形及び売掛金の減少(同12億97百万円減)並びに原材料の減少(同16億91百万円減)が主な要因となっております。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は121億7百万円となり、前事業年度末に比較し5億55百万円増加いたしました。

これは、東港工場の包装米飯生産設備移設及び改修に伴う、機械及び装置の増加(前事業年度末比5億47百万円増)が主な要因となっております。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は128億24百万円となり、前事業年度末に比較し1億52百万円減少いたしました。

これは、短期借入金の減少(前事業年度末比3億50百万円減)が主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は37億9百万円となり、前事業年度末に比較し1億82百万円減少いたしました。

これは、長期借入金の減少(前事業年度末比1億91百万円減)が主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は77億68百万円となり、前事業年度末に比較し3億87百万円減少いたしました。

これは、配当金の支払及び第1四半期純損失のよる利益剰余金減少(前事業年度末比2億80百万円減)、自己株式の取得が主な要因となっております。

(2)キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、10億57百万円となりました。これは、売上債権の減少が主なものとなっております。

投資活動の結果支出した資金は、1億88百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が主なものとなっております。

財務活動の結果支出した資金は、8億10百万円となりました。これは、短期借入金・長期借入金の返済による支出及び自己株式の取得による支出が主なものとなっております。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末の残高は、前事業年度末と比較し57百万円増加し、80百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね当初の想定範囲内で推移しておりますので、現時点におきましては平成20年6月16日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を、当第1四半期会計期間より適用し、評価基準については、総平均法による原価法から総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴い営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ7,548千円増加しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、法人税法の改正を契機として固定資産の経済的耐用年数の見直しを行い、機械及び装置について、従来耐用年数を9~12年としておりましたが、当第1四半期会計期間より10年に変更しております。

この変更に伴い営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ20,877千円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,731,276	1,671,343
受取手形及び売掛金	3,177,944	4,475,693
製品	2,171,965	743,461
原材料	3,950,407	5,641,422
仕掛品	532,222	432,531
その他	635,183	513,993
貸倒引当金	△3,000	△4,100
流動資産合計	12,195,999	13,474,346
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,598,519	2,557,132
機械及び装置(純額)	4,134,018	3,586,613
土地	1,802,955	1,802,955
その他(純額)	289,288	354,320
有形固定資産合計	8,824,782	8,301,022
無形固定資産		
投資その他の資産	9,558	9,571
投資不動産(純額)	2,397,902	2,404,829
その他	899,410	860,137
貸倒引当金	△24,530	△24,430
投資その他の資産合計	3,272,782	3,240,536
固定資産合計	12,107,123	11,551,130
資産合計	24,303,123	25,025,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,368,084	1,211,666
短期借入金	8,550,000	8,900,000
未払法人税等	7,000	10,000
引当金	157,868	254,921
その他	2,741,975	2,600,569
流動負債合計	12,824,928	12,977,157
固定負債		
長期借入金	3,012,504	3,203,592
退職給付引当金	467,560	458,130
引当金	97,349	95,924
その他	131,961	133,948
固定負債合計	3,709,376	3,891,596
負債合計	16,534,304	16,868,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	6,916,514	7,197,202
自己株式	△305,467	△169,947
株主資本合計	7,660,821	8,077,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	107,996	79,693
評価・換算差額等合計	107,996	79,693
純資産合計	7,768,818	8,156,722
負債純資産合計	24,303,123	25,025,476

(2) 【四半期損益計算書】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)
売上高	3,757,398
売上原価	2,707,695
売上総利益	1,049,703
販売費及び一般管理費	1,460,580
営業損失(△)	△410,877
営業外収益	
受取利息	1,652
受取配当金	1,256
受取賃貸料	43,101
受取手数料	71,856
その他	13,758
営業外収益合計	131,625
営業外費用	
支払利息	56,481
賃貸費用	26,562
その他	717
営業外費用合計	83,762
経常損失(△)	△363,014
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,100
固定資産売却益	28
特別利益	1,128
特別損失	
固定資産除却損	548
特別損失合計	548
税引前四半期純損失(△)	△362,434
法人税、住民税及び事業税	1,984
法人税等調整額	△142,706
法人税等合計	△140,722
四半期純損失(△)	△221,712

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第1四半期累計期間
 (自 平成20年5月1日
 至 平成20年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△362,434
減価償却費	282,670
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△88,752
受取利息及び受取配当金	△2,908
支払利息	56,481
売上債権の増減額(△は増加)	1,297,748
たな卸資産の増減額(△は増加)	158,517
仕入債務の増減額(△は減少)	156,417
未払消費税等の増減額(△は減少)	△80,598
その他	△355,489
小計	1,060,653
法人税等の支払額	△3,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,057,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△187,028
投資有価証券の取得による支出	△4,146
その他	2,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,000
長期借入金の返済による支出	△213,310
利息の支払額	△52,897
自己株式の取得による支出	△135,520
配当金の支払額	△58,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△810,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,940
現金及び現金同等物の期首残高	22,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,047

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期(自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年4月30日残高	543,775	506,000	7,197,202	△169,947	8,077,029
当第1四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△58,975		△58,975
四半期純利益			△221,712		△221,712
自己株式の取得 ※				△135,520	△135,520
当第1四半期末までの変動額合計	—	—	△280,687	△135,520	△416,207
平成20年7月31日残高	543,775	506,000	6,916,514	△305,467	7,660,821

※平成20年7月に東京証券取引所の終値取引(ToS TNeT-2)により、135,520千円取得しております。

【参考】

前年第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期貸借対照表

	前年第1四半期会計期間末 (平成19年7月31日)
科目	金額(千円)
(資産の部)	
I 流動資産	10,871,720
1 現金及び預金	1,686,545
2 受取手形及び売掛金	3,231,644
3 棚卸資産	5,451,134
4 その他	505,496
貸倒引当金	△ 3,100
II 固定資産	12,312,399
1 有形固定資産	11,360,596
(1) 建物	3,325,042
(2) 機械及び装置	4,152,905
(3) 土地	3,847,235
(4) その他	35,413
2 無形固定資産	9,616
3 投資その他の資産	942,185
資産合計	23,184,119
(負債の部)	
I 流動負債	10,451,329
1 支払手形及び買掛金	1,353,848
2 短期借入金	6,600,000
3 未払法人税等	18,118
4 引当金	153,054
5 その他	2,326,307
II 固定負債	5,449,494
1 長期借入金	3,943,308
2 退職給付引当金	434,551
3 引当金	946,534
4 その他	125,100
負債合計	15,900,824
(純資産の部)	
I 株主資本	7,151,750
1 資本金	543,775
2 資本剰余金	506,000
3 利益剰余金	6,271,798
4 自己株式	△ 169,822
II 評価・換算差額等	131,544
1 その他有価証券評価差額金	131,544
純資産合計	7,283,295
負債、純資産合計	23,184,119

(注) 前年第1四半期は、四半期連結貸借対照表を開示したため、個別貸借対照表は未開示となっておりますので、参考値として記載しております。

(2) (要約)四半期損益計算書

科目	前年第1四半期 (自平成19年5月1日 至平成19年7月31日)
	金額(千円)
I 売上高	3,557,432
II 売上原価	2,511,825
売上総利益	1,045,607
III 販売費及び一般管理費	1,619,009
営業損失(△)	△ 573,402
IV 営業外収益	55,083
V 営業外費用	63,429
経常損失(△)	△ 581,747
VI 特別利益	600
VII 特別損失	48,424
税引前四半期純損失(△)	△ 629,572
法人税等	△ 223,432
四半期純損失(△)	△ 406,139

(注) 前年第1四半期は、四半期連結損益計算書を開示したため、個別損益計算書は未開示となっておりますので、参考値として記載しております。

(3) (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前年第1四半期累計期間 (自平成19年5月1日 至平成19年7月31日)
	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△ 629,572
減価償却費	263,812
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 460
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 86,206
受取利息及び受取配当金	△ 2,342
支払利息	47,606
売上債権の増減額(△は増加)	1,003,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 802,734
仕入債務の増減額(△は減少)	155,498
未収消費税等の増減額(△は増加)	143,268
その他	△ 307,665
小計	△ 215,480
法人税等の支払額	△ 51,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 266,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 143,389
投資有価証券の取得による支出	△ 145
その他	1,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 142,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000
長期借入金の返済による支出	△ 224,176
利息の支払額	△ 52,868
配当金の支払額	△ 49,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	373,789
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 34,805
現金及び現金同等物の期首残高	74,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,937

(注) 前年第1四半期は、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を開示したため、個別キャッシュ・フロー計算書は未開示となっておりますので、参考値として記載しております。